

地域にはばたく市民パワー!



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2022年2月号(第156号)

発行責任者 中原 幹男



朝日に光り輝く山口観音の五重塔

1月27日 仲山 富夫氏 撮影

ところざわ倶楽部の現状と方向性

総務部長 大西 優

現在、ところざわ倶楽部には、市民大学14期生から2019年に修学した27期生までと、一般会員16名を含む、234名が加入しています。

1年延期し2021年スタートした28期生が、2年次を修了して加入するのは10月以降になりそうで、コロナ禍もあり会員の減少傾向が続いています。

又、男女比はおよそ6:4で、多くの会員が14あるサークルだけでなく、その他の団体にかかわり、活動しています。

一方、「一億総活躍社会」「70歳まで就労の機会確保」が当たり前になり、会員の高齢化も進み、団塊の世代は、今年から順次後期高齢者の仲間入りをして行きます。健康寿命を延ばし、社会的フレイルの予防のためにも、運動、教養・趣味、ボランティアなどに自発的に参加することが必要です。難しい時期ですが、「今期事業」へも、多数の方々の参加を期待するものです。

又、ところざわ倶楽部の特色として受け継がれているサークルへの入会・活動スタイルは、複数のサークルにも加入でき、「倶楽部」と「サークル」との重層関係が、会員の社会参加への窓口を広げると同時に支援しています。

それぞれの重要な人的資源である“身近な人との人間関係”やサークルなどでの“水平的な繋がり”が、「ところざわ倶楽部」による“ソーシャルサポート”とマッチすれば、さらに多くの地域貢献も可能になることでしょう。そして、このような取り組みが、第15期定期総会において示された、“がんばろうとする人を応援し、・・・人に寄り添う”とする、今期運営方針に叶うものと考えます。



社会参加を通じての健康づくり



井手 一茂
(第1部講師)

同じ日本国内で住んでいるだけで、4倍認知症になりやすいまちがある…？

にわかに信じがたいような分析結果がこれまでの研究からわかってきました。果たして、認知症になりにくいまちとはどんなまちなのでしょう？

そのヒントを探索していくと人とのつながり、社会参加が健康に大きく影響していることがわかりました。

我々が日本全国の多くの市町村と取り組んでいる日本老年学的評価研究(JAGES)のデータより、社会参加がどのくらい健康に良い影響を及ぼすのか？そしてそれはなぜなのか？についてお話したいと思います。

さらに、新型コロナウイルス感染症流行が長期化し、人とのつながりが減る中で、高齢者において新型コロナウイルス感染症によらない健康二次被害(体力低下、認知機能低下)なども危惧されています。こうした健康二次被害やその対策、ウィズコロナ、アフターコロナの時代を見据えて、みなさまが生き生きと楽しく過ごせるようなまち、ところざわをつくるためにはどのような取り組みを進めればよいのかについても一緒に考えていける時間にしたいと思っています。

(千葉大学予防医学センター特任研究員)



ところざわ倶楽部のみなさんの パワーに魅せられて



栗原 香菜
(第2部講師)

この度、健康増進セミナーの企画に参加させていただくことになり心より感謝申し上げます。

私が、埼玉大学の安藤聡彦先生のゼミ生(大学2年)として、所沢市民大学の皆さんの学習会に参加した時、受講生の皆さんが、地域や社会、そして次世代の子どもたちを思い、自分自身に向き合い、仲間とともに一生懸命学ぶ姿に感銘を受け、その体験を卒業・修士論文に反映させて頂きました。そのご縁がきっかけとなり、現在、スマイルパイレーツの皆さんと一緒にチアダンスをさせて頂いております。

チアダンスのチアとは、「Cheer=応援する」という意味です。つまり、観ている人を応援する、元気と笑顔を届けるという競技です。

私はこのチアダンスが、ところざわ倶楽部の皆さんにぴったりだと思っています。チアダンスで何より重要なのは、見ている人を笑顔で元気にするために、まず自分自身が笑顔で元気でイキイキとすることが重要だからです。

スマイルパイレーツの皆さんと活動する中で、私はこのチアダンスの本質を教えていただいているように思います。そして、活動を通して皆さんとかかわってきた若者たちも、「こんな素敵な大人になりたい」「自分も失敗を恐れずチャレンジしたい」「落ち込んでいたけれど、明日から仕事頑張ろう」と、励まされ、元気をいただいています。

皆さんの生き方に、若者たちが Cheer されているのです。誰より、私自身がその一人です。そんな素敵なお縁をいただいたことに改めて感謝し、ぜひ多くの皆さんに体験していただけたら嬉しいです。

若者一同、楽しみにしております。どうぞよろしくお願いたします。

(健康運動実践指導者)

ところざわ倶楽部活動記録雑感

人生はまだまだ続く ～ 知的集団の実践も～

ところざわ倶楽部 前会長 佐藤 重松

ふり返ってみれば、なんと多くの方々との出会いがあったことか、まさに望外の役得でした。一口には語り尽せませんが、在任中の雑感と今後の願いを記したいと思います。

第1は「時局講演会」、何と言ってもところざわ倶楽部の伝統として継承されていくであります！

「政治とジャーナリズム」は、時の政権を監視し権力の暴走を抑止、ファクト報道に徹して、国民の知る権利に応えるジャーナリズムが求められている。報道の自由が委縮している現実に民主主義への危機感が募ります。



【時局講演会の講師陣】

「原発問題を語る」では、3.11 東日本大震災で原発の安全神話が砂上の楼閣であった事を白日の下に解明頂きました。

また、この講演をうけて、参加者で“原発トークセッション”も意義あるものとなりました。

更に、中村敦夫氏の朗読劇「線量計が鳴る」も鬼気迫る迫真の演技でした。

「海洋プラスチック問題」は海洋生態系に重大な影響を与える大問題を。循環型社会形成推進法に基づいていない容器包装リサイクル法の問題点から、海のプラごみの解決に向けて提言され、3R運動の必要性を伝えて頂きました。

「食の安全ウソ・ホント」は、食に対する情報のフェイク・ファクトが入り乱れ、日常の食生活やサプリメント宣伝の大洪水に、賢い選択ができる消費者に！と講演。日常生活の中に思い当たる事が沢山ありました。

第2は「文芸講座」、毎年好評で常に満席の状態。東北文学「故郷とどう向き合うか」は初の試みで、柳田國男の「遠野物語」に始まって宮沢賢治・太宰治、「おらおらで一人いぐも」の若竹千佐子の四人の作品がハーモニーとなつて、聴講された皆さんは郷愁にかられた様でした。また「平家物語滅びの章」は、“奢れるもの久しからず、ただ春の夜の夢の如し・・・”。観世流謡曲、能から学ぶ古典の世界を堪能しました。



【文学講座・講師】

第3は、従来の文化祭をリニューアルして、第1回「ところざわ倶楽部まつり」の取り組みは、開催地域を巻き込んだ多彩な催しで会場は300名を超える参加者で大いに盛り上がりました。しかし現下の新型コロナウイルス感染状況が2年有余にわたり、なお変異を続け第6波が襲い続けています。収束の暁には第2回開催を期待します。



第4は「コロナ禍の2年間」ところざわ倶楽部の皆さんは、創意工夫と感染予防対策を徹底し、“離れて繋がれ”とズームやアウトドア企画で好評を得ました。

第5は「国連が提唱するSDGs」についても、倶楽部のサークルがどの分野で関連した活動をしているかの分類を試み、サークル活動の意義を再確認できた様に思います。

また、「戦争と平和」「世界の平和を考える」シリーズは、戦後75年の時を経て、なお地球上で紛争が絶えないのはなぜ？戦争の悲惨さを語り継ぎ、如何に平和が尊いものかを伝える企画は素晴らしいことでした。

<皆様へのメッセージ>

シニアの生涯学習とは、「学ぶことと行うこと」の交叉軸の幅を広げ、生きている・生きてきた・猶生きていく意味の探索であり、経験による行動変容を遂げていくことではないかと思ひます。

残された時間は少なく、経験や生きる知恵は豊富、されど虚弱の方向は否定できません。しかし日常生活の自立の維持に心して、一日でも長く・元気に過ごして頂きたいと願っております。その為、自ら進んでお世話役を買って出る、人が喜んでくれることに喜びを感じ、長い人生の中で、「誰かにそうして貰ったように、誰かにそうしてあげよう」SDGsな心で！子や孫たちの未来のために。

15 注の巻かさも
守ろう

埼玉県武蔵野地域では、火山灰に厚く覆われた草原に、江戸時代から木々を植えて平地林を育て、落ち葉を集めて堆肥として畑に入れて土壌改良を行うことで農作物の安定的な生産を実現し、景観や生物多様性を育むシステムが、今なお継承されています。



平成29年に「武蔵野の落葉堆肥農法」が農林省の日本農業遺産に認定され、さらにFAO(国際連合食料農業機関)の世界農業遺産認定を目指して、川越市・所沢市・ふじみ野市・三芳町の農家・JAで構成する協議会の努力が続けられています。この協議会に参加する農家は、4地域販売農家2,400軒中わずか72軒(3%)で、身内だけで落葉掃きをやる場所もあれば、市民を集めた落ち葉掃きイベントを続けているところもあります。落葉堆肥農法を維持することは大変なことですが、コロナ下で行政の支援が期待できなくなっていることや、参加する市民の減少や高齢化へ

の対処が課題となっています。

この農法を支えるために、市民大学の「日本の農業」や「環境倫理」「地域の自然」「地球環境」などの講座を学んだ修了生が、いろいろな環境活動をおこなうサークルを通して毎年の落葉掃きイベントに集まっており、その支援活動は12年にもなります。

今年は、1月8日の所沢市柳瀬地区陽子ファームのイベントに12団体等。1月22日の三芳町伊東園のイベントに6団体。それぞれのイベントに6、70名が集まりました。



武蔵野の風情や、農家さんのハートをじかに感じるこの落葉掃きは、市民にとって得難い体験です。来年も続きますので、ぜひご参加ください。

〈陽子ファーム落葉掃き参加団体等 73名〉

1. 所沢の自然と農業サークル
2. 市民大学ファームの会
3. 山田ファームとワーカーズコープ
4. 東京農工大学 先生方と留学生たち
5. 秩父学園みどりの応援隊
6. がんばれ農業人(トコトコ農園)
7. 市民大学柳瀬OB会
8. 景観市民活動クラブ
9. お達人倶楽部お気楽会
10. 所沢市民ソーラー
11. マザーズ
12. 所沢市議 ほか

〈伊東園落葉掃き参加団体 64名〉

1. 所沢の自然と農業サークル
2. 市民大学ファームの会
3. 山田ファームとワーカーズコープ
4. 東京農工大学 先生
5. 秩父学園みどりの応援隊
6. がんばれ農業人(トコトコ農園)
7. 埼玉森林サポーター ほか



パソコン相談会は継続して開催しています！

～どなたでも参加できます～

広報部 玉上 佳彦

2020年9月から開始したパソコン相談会は、本年1月で、計27回となりました。原則として、毎月1回か2回の不定期ですが、新所沢公民館で行っています。

当初は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、公民館を使用した会議やサークル活動ができなくなるだろうという前提で、Zoom Meetingができるようにするための研修会としてスタートしました。その後、ところざわ倶楽部の理事会やサークルのミーティング ZoomOOM を利用することができるようになりました。

☆これまでのパソコン相談会は以下のような内容で、会員の皆様の要望に対応してきました。

- ・パソコンの基本操作について（基礎から応用まで）
- ・新規購入パソコンのセットアップ
- ・旧パソコンからのデータ抽出、再インストール
- ・Word、Excel、PowerPointなどのソフトウェアに関して
- ・パソコンの各種不具合の修正
- ・ネット接続の確認
- ・Zoom、Skypeの設定
- ・不審なソフトの取扱いやアンインストール
- ・ホームページ作成の案内
- ・ウィルス対策ソフトの設定
- ・プリンタ動作の確認 など



☆相談会の参加者数は



日によって異なりますが、厳密な集計をしていませんでした。多い日で約15名、少ない日で3名でしたが、これまでの述べ参加者数は200名近いのではないかと思います。

☆パソコン相談会の会場

公民館でネット接続できるWi-Fi環境を利用できる部屋は新所沢公民館の学習室5号、6号のみです



パソコン相談会の日程

アジア研究会などのサークルの随時予約を利用しているため毎月の日程は前月のはじめに確定します。実施日は、HPにて案内いたします。時間帯は13:00～16:00です。

これまでにパソコン相談会に参加されたことのない方へ！！

- ・パソコンに関するどのような問題でも構いません。よくわからないこと、不具合なことなどありましたら、遠慮なくご参加して相談下さい。もちろん無料です。
- ・参加される場合は、ご使用中のノートパソコン、電源ケーブル、マウスなどをご持参下さい。
- ・但し、パソコン本体の故障の場合は、対応できないこともありますので、予めご了解下さい。
- ・デスクトップパソコンをご使用の方は、会場まで持参することが難しいかと思いますが、その際は事前にメールまたは電話にてご連絡下さい。

サークル活動報告



2月例会 音楽療法



脳活サークル
幹事会

音楽療法とは、音楽の持つ様々な働きを用いて、心と体の元気を取り戻そうとするものです。

今回で3回目。音楽療法士の佐井佳代子先生の指導で約25名の方が参加して行われました。

まず、先生の持参した簡単な楽器を鳴らして、音の肩慣らしをし、次に皆さんからのリクエストにより、全員でマスクのまま合唱を行いました。思い出の歌、懐かしい歌など多彩な曲が歌われました。途中、ビデオを見ながら曲に合わせて手話を習いました。手話は初体験の方も多く、指導の動作についていくのが大変でした。「脳活」に相応しい取り組みでとても盛り上がりました。後半もリクエスト曲十数曲歌ったのでしょうか。先生から「そろそろ終了にしませんか」と声がかかりましたが、参加者のもっと歌いたいとの要求に応じて、更に数曲歌いました。

この企画は、会員で91歳、最高齢のO氏が、パソコンで曲の準備やプロジェクター、手話ビデオの準備などすべてを担当してくださりスムーズに進行することができました。楽しかったあ！との声や1時間半では物足りなそうで、さらに次年度の開催も決まりました。



「楽しみながら学ぶ」

食を通して所沢を知る会
木下 みえこ



2022年も、コロナ感染再拡大で自粛生活は繰り返されませんが、毎日を工夫し落ち着く時を待ちたいと思います。“立春”はもう直ぐ、春の兆しが励みになります。

1月25日(火)今年最初の定例会(第4週の火曜日)を開催しました。議題は「一年間の活動計画について」です。感染対策・感染予防などで活動範囲は狭まりますが、所沢の食を通して「楽しみながら学ぶ」をモットーにあれこれと出された

提案を話し合い、2月いちご狩り・3月新井園訪問・4月茶摘み体験等計画しています。

「食トコ」は2014年2月に市民大学18期の修了生有志で設立され8年になります。会員数は13名で2021年のコロナ禍も会場ではあまり蜜にならず、毎月の活動ではコミュニケーションが取れて、次の期への引き継ぎも出来ました。15期の代表は岡部まさ子さんです。

秋になりますが、「地球環境に学ぶ」サークルとの合同企画・「ところざわ倶楽部」共催の『食の安全を守る人々』の映画鑑賞会が予定されています。また、フードバンクの黒田和代さんからの依頼を受けて、西武デパートと子どもと福祉の未来館で「フードドライブ」のお手伝いが始まりました。ささやかな応援ですがお役に立てれば幸いです。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

<p>1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868) 2月17日(木) 定例会 コロナ対応のため中止いたします。 3月3日(木) バス旅行(※栃木県鏝阿寺と足利学校、田中正造と足尾銅山鉱毒関係)はコロナ対応のため中止いたします。 3月17日(木) 及川先生万葉集㊿(最終回) 中央公民館 同時刻</p>	<p>8. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751) 2月15日(火) 9:30~11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア 2月25日(金) 9:30~11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア 3月10日(木) 13:00~15:00 新所沢公民館 定例会 3月15日(火) 9:30~11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア</p>
<p>2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076) 2月9日(水) 13:30~16:00 中央公民館8・9号室 定例会 渡邊晴雄氏による「チベット旅行記」 3月9日(水) 13:30~16:00 中央公民館8・9号室 定例会 久保田修介氏による講演「日本式教育法とユダヤ式天才教育法」</p>	<p>9. 野老澤の歴史をたのしむ会 (粟屋 貴夫 090-2746-9840) 2月17日(木) 13:30~16:00 中央公民館 歴史講座 「東山道武蔵路」(※中止といたします) 3月3日(木) 13:15~14:45 生涯学習推進センター ところざわ歴史物語増補改訂版の解説 講師：文化財保護課 木村立彦先生</p>
<p>3. 活いきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548) 2月16日(第3水) 13:00~15:00 生涯学習推進センター 定例会 「認知症わたしたちができること」DVD視聴 認知症について正しく知り、自分のこととして考えるヒントを学習(※コロナ状況により休会も検討) 3月23日(水) 13:00~15:00 生涯学習推進センター 定例会</p>	<p>10. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238) 2月19日(土) 10:00~12:00 中央公民館3号室 ヘンリー8世朗読 3月12日(土) 10:00~12:00 中央公民館3号室 事項：未定 3月19日(土) 10:00~12:00 中央公民館3号室 事項：未定</p>
<p>4. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434) 2月14日(月) 13:15~16:30 中央公民館3階8・9学習室 「ショパン・コンクール2021」 「イル・ディーヴォ」(カルロス・マリンを追悼して) 3月8日(火) 13:15~16:30 中央公民館3階8・9学習室 ヴェルディ 歌劇「アイダ」</p>	<p>11. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151) 2月8日(火) 10:00~12:30 西新井町会館 邦画「アルプスの若大将」(66年) 加山・星・田中邦衛 2月22日(火) 10:00~12:30 西新井町会館 洋画「鳥」(63年) ロッド・テイラー、ジェシカ・タン ⇒「鳥」は再々のチャレンジ作品 何かにトリつかれている？</p>
<p>5. 食を通して所沢を知る会 (岡部 まさこ 080-5872-1868) 2月22日(火) ♡いちご狩り「狭山ベリーランド」(予定) 9:30 新狭山駅集合 3月22日(火) 新井園訪問 お茶の話と試飲予定。</p>	<p>12. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308) 2月28日(月) 13:30~ こどもと福祉の未来館・多目的室2号 会員による講座・講師 鶴野沢実豊氏 テーマ：「最近明らかになってきた『脳腸相関』について」 3月28日(月) 13:30~ こどもと福祉の未来館・多目的室2号 定例会 会員の脳活発表またはDVD鑑賞などを予定</p>
<p>6. 地球環境に学ぶ (小田原 一博 080-6537-2670) 2月15日(火) 9:00~11:00 新所沢東公民館 定例会 環境討論会(身の回りの省エネの徹底方法 他) 2月18日(金) 10:00~12:00 新所沢東公民館 読書会：リニア新幹線をめぐって(第4回)、農業消滅(第1回)</p>	<p>13. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835) 2月21日(月) 新所沢東公民館 研修室1号定員15名 「3グループの活動について」を予定。 3Gの発足報告と今後の方針などのグループ討議も。 3月23日(水) 「3月定例会」を予定。</p>
<p>7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668) 3月9日(水) 13:15~15:00 中央公民館 2階学習室5号 定例会 議題「シニア世代が抱えているさまざまな課題」 2月16日(水)~18日(金) 市民活動見本市 市役所1階ホール 〈スマイルパイレーツの活動〉 2月27日(日) ところざわ倶楽部 健康増進セミナー・実技参加</p>	<p>14. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283) 2月18日(金) 10:00~13:00 こどもと福祉の未来館 多目的室3号 定例会 録画・録音予定の民話『とんぼの宿り木』 『弘法の三ッ井戸』中心に読み合わせ 3月18日(金) 定例会 中央公民館 音楽室予定</p>

理事会報告

◆1月17日(月)第2回理事会を開催しました。
 ところざわ倶楽部としては、感染予防対策を十二分に講じて、可能な限り事業活動を継続してゆく方針があらためて確認されました。
 ◆2月27日(日)13:00~16:00 所沢中央公民館ホールで実施予定の「健康増進セミナー」のチラシを基に、1月末までに各サークルを通じて参加人員の把握に努めることとされた。

広報部 2月28日(月)13:00~17:00
 新所沢公民館においてパソコン相談会を開催
 総務部 年会費納入者数は208名となりましたが、引き続きサークルごとの集金にご協力をお願いします。
 次回、第3回理事会
 2月14日(月)10:00~12:00 新所沢東公民館講堂

みんなの広場 第36回

葵の会 田沼 幹子

《会津のものふ》



「筒音に鳴く音休めし ほととぎす
会津に告げよ 武夫の死を」

輪形の月

慶応 4 年の戊辰戦争は越後口でも激闘が展開された。これは会津藩の飛び地であった小出島のある民家から発見された会津戦士の時世の句である。

輪形月とは満月であり望月のこと。小出島の郷土史家が会津戦士者の中に望月武四郎という人物がいることに気づいた。武四郎はこの家の住人たちに会津兵を匿ったことで累が及ぶ事を恐れ、この句を障子戸に残して民家を出、自害したと言う。

作者は暫く不明だったが判明し、会津に告げられたのは昭和 63 (1988) 年、実に 120 年後のことでした。

我々は有志で会津戦死者古戦場を巡り慰霊の旅をしていて、これは新潟で出会った句です。この句碑をやっとのこと探し当て、線香と花束を手向け、皆バスに戻った瞬間、暗雲垂れ込め豪雨に覆われました。

魂が揺さぶられ言葉を失った瞬間でした。

替えてって言われてもな元が元
席替えに願いはかなく三学期
服選び顔も替えたいイケメンに
グレーヘア生まれかわってまたオシヤレ
孫が来て賑やか笑うお正月
畳から床の生活脚伸びる
年賀状一言添えた今年こそ
専門家お役所仕事で超多忙
また遊ぼしわしわ顔でも孫慕う
マスク越し会釈したけど誰だっけ
ふり返りパパと呼ぶけど共白髪
喋り過ぎ喉が心配でも喋る

「自由題」

課題「替える」

川柳「七十」 作品発表 選 中島峯生

海さとし 突拍子
縄文人 突拍子
りんご好き 突拍子
庵閑子 縄文人
どうし 庵閑子
詔笛

次回 (第 71 回) 課題「保育園」そして「自由題」

締切り日：2月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax 04-2928-1161

むさし野俳句会 (令和四年二月) 作品抄

パソコンの光に遊ぶ冬の蠅
坪庭の隅に日の差す春隣
うつかりは生きてる証掘根深汁
初電話分かった振りの山形弁
初雪や東京駅舎雪化粧
ランバイク蹴りつつ見づく冬の蝶
窓明かり独身寮の四日かな
小林 典子 散るだけの力秘めたる冬の薔薇
佐藤 八郎 元旦の空あをあと静かなり
白神 恵子 黙食の味も俗気もなき三日
高梨 千代 大鍋を納屋に仕舞ひぬ寒の月
利根川啓一 写経する一念発起二日かな
中嶋 弘子 角打ちで合わせるコップ日脚伸び
橋本 佑子 一目千羽護岸の遙かまでも鴨
平栗 彰子
宮本 信生
荒幡千鶴子
井出 昇
海老澤愛之助
鈴木 貞夫
小川 征子

「むさし野俳句会」も新型コロナ感染症の緊急事態宣言以降なるべく短時間で句会を行うようにしております。しかしながら、高齢化には逆らえず最近メンバーが減少しています。第一火曜日の九時三十分から行いますので左記三名の者にご照会下さい。

連絡先 佐藤(八) 2948-8247 中嶋 2994-6045 海老澤 2922-0259

《編集後記》

新しい年があげました。何とも騒がしく不安な年を迎えることとなりました。国内では新型コロナ変異株オミクロンがその感染を日毎に拡大しています。

世界に目を向けると欧州ではウクライナが一触即発の状態で見れば台湾海峡の波がますます高まり、北朝鮮のミサイルが東に向かって発射されます。さらに世界を二分する民主主義国家と強権国家の主導権争いでその国家の統治形態の優劣を競っています。昨年3月にアラスカのアンカレッジで開かれた米中外相会談の冒頭での激しい論争で、初めて「中国の民主主義」という言葉を聞きました。中国に本当に民主主義が根付いているの？というのが率直な感想です。我々が漠然と考えていた民主主義とは異質の中国の共産党統治に都合のよい民主主義でしょう。民主主義の基盤は自由、人権、平等と包摂と言われています。民主主義の伝道者と言われてきた米国ですら社会分断の危機に直面しており、さて我が国はどうでしょうか？年初にあたりじっくり考えてみる機会と思います。(稲村：記)

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)